

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム パッション
所在地	鹿児島県鹿児島市和田一丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	令和5年9月2日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年9月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣にバス停(大御堂) サンキュー、業務スーパー、コンビニがあり銀行、郵便局、病院など徒歩圏内にあるので外出、家族の訪問に便利です。最近では近隣の入居者様も多くなり、より身近に地域の方々との交流が盛んになりました。コロナ感染防止の為に面会制限を実施させて頂き本人、ご家族様に不自由な思いを感じさせてしまいましたが、以前より家族や他者との絆はGHにおいても大切にしたいと考えております。また医療面でも本人の最後まで過ごしたいとの希望に添える様に体制が整いつつあります。一番の強みは創設以来スタッフの離職率が低いことです。今後も一人一人の人生に関わる事を感謝して研鑽に励みたいと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、近隣に医療機関や商業施設があり交通の便に恵まれた地域に立地しており、家族の面会にも便利な生活環境である。
- ・コロナの感染状況によって家族の面会制限もあるが、家族との居室面会や外出等の交流を可能な限り実施し、本人と家族の関係が継続できるよう取り組んでいる。
- ・本人や家族の希望するかかりつけ医及び系列の医療機関との協力体制を築いており、医療面における安心となっている。また、本人・家族の意向に沿って、かかりつけ医との連携を図り家族の協力を得たうえで看取り介護にも取り組み、最後まで本人・家族が安心して過ごせるよう支援している。
- ・管理者は、職員の資格取得や研修受講を勧めて質の向上を図るとともに、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでおり、離職率が低い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	出来るだけ地域の方々のお役に立てる様に理念に沿った行動の実践を心がけている。	理念は事業所玄関等に掲示し、パンフレットや職員のネーム裏にも掲載している。理念に沿ったケアの実践に取り組み、必要時に管理者からケアの振り返りを促している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し行事に参加や協力を行う。	町内会に加入し、回覧板で地域行事等を把握している。年2回の清掃活動に参加協力し、今年度は再開される文化祭に作品を出展予定である。地域との交流が減少している中、庭木の剪定ボランティアは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣の医療連携室や居宅介護支援事業所、特老などとの連携を図り相談などに対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回民生委員や地域包括支援センター以外に参加者を変えて広い視野からの意見をサービス向上に活かしている。	今年度は2ヶ月に1回の運営推進会議を対面で実施し、事業所の状況報告及び意見交換を行っており、地域包括支援センター及び民生委員等から地域の情報を得る良い機会となっている。出された意見や情報を活かしてサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加依頼し地域の実情や情報の共有を行う。また高齢者からの相談事で判断出来ない時は直接介護保険課に電話で質問する事もある。	市担当者とは、電話や窓口に向向いて相談し助言を得る等、事業所の状況を積極的に伝えて連携を図っている。介護相談員を受け入れ予定であり、市のオンライン研修等も受講している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し毎月協議、検討している。独自のチェックシートを作成し記録している。また内部研修でも拘束廃止への取り組みを行っている。	指針を基に委員会を毎月開催しチェックシートで拘束の有無を確認している。研修会は年間計画に組み込んで数回実施している。不適切な言葉やケアについては会議で話し合い、職員の理解を得て対応を統一している。日中の施錠はせず、外出希望があれば職員が散歩や自宅訪問に同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	虐待の内容や外部研修記録の学習会で自己啓発、や研鑽を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見センターの研修を管理者が受けて内容をまとめて回覧している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>コロナの為面会が出来ないため資料や情報を基に、要望などを含め説明している。また退去時は理由については家族、利用者の納得の上移行先との情報交換、依頼等を実行している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。また新聞等にも苦情、相談窓口について提示している。</p>	<p>利用者には日常会話で希望等を聞き、食べたい物は食事に取り入れている。家族には、面会時に職員から積極的に話しかけて家族が話しやすい雰囲気づくりに努めている。要望があれば、家族の事情等にも配慮しての対応に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の会議以外にスタッフ以外の外部ボランティア、家族などの意見を聞いて運営の反映させる。</p>	<p>フロア会議を毎月、全体会議を2ヶ月に1回実施し、職員の意見や要望を聞いている。ケアの統一や備品購入の希望等、職員の意見を反映させるよう取り組んでいる。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>入職時は人事より職場環境、条件に付いて説明し文面で契約を交わしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各自の役割に応じた研修に参加を指示する。またアンケートを配布し内部研修の問題点として提起する。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>母体主催の勉強会に参加し他事業所との情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴や病歴、現在の問題点などを把握し本人が安心して入居される様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の要望に沿えるように家族との信頼関係を構築する。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅時の情報を基に家族、関係機関と協議し早急な対応が出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の不安や孤独感を軽減できる様に会話の機会を作る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	GHは本人、家族、施設との協調性が必要であり特に精神面での支援をお願いします。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	本人が精神的に落ち着いてきたら外出や面会を導入したい。	面会時やラインで近況報告を積極的に行ったり、コロナの感染状況を見ながら、要望に応じて家族の面会や外出・外泊を感染予防対策の上で実施し、家族との関係が途切れないように努めている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	レクリエーションや会話で支えあえる関係になれるように適度にスタッフが介入する。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退居前後の関係機関との調整はGHと家族が協力し支援を進めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話の中から、希望や要望の聞き取りをしたり、ご家族様からの情報を聞いている	本人の意向を日常会話の中で把握するように努めている。困難な場合は、家族や職員、入居前の利用サービス事業者等からの情報を参考に、本人の表情等から希望をくみ取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話の中から生活歴等の情報を聞いたり、ご家族様からの情報にて共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で気付き等、情報共有に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員間で意見やアイデアを出し合い、話し合いを行い介護計画を行っている	家族の意見は電話やライン・面会時に聞き、担当職員の意見や記録類を参考にして介護計画を作成している。モニタリングを毎月実施し、6ヶ月毎に計画の見直しを行っている。状況変化時にも見直して現状に合った計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の気付きや工夫を個別記録に残し、職員間で情報共有に努めている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様やご家族様の状況やニーズに対応し、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナの影響で地域交流が困難な為、ホーム内でご本人様に合わせて力を出せるよう工夫している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>健康状態の変化時は、地域連携室等へ指示を仰ぎ、医療受診に繋げている</p>	<p>契約時にかかりつけ医の希望を確認している。家族対応でかかりつけ医の継続や定期的往診、母体医療機関の受診等を本人・家族の希望で実施しており、緊急時を含め適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>主治医との連携は取れている 日常の健康管理や状況変化の情報共有し、職員が閲覧できるようにしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報提供を作成し、提出している 退院前はカンファレンスに参加している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医より説明を頂き、ご家族様の意向を聞き、定期的に話し合いを行い気持ちを尊重した支援を行っている 主治医・職員とのカンファレンスうを行いながら支援している</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書ももらっている。状況の変化事等に家族との話し合いを重ねて、家族の意向に沿って支援に取り組んでいる。看取り介護希望の場合は、家族の協力を得たうえで主治医・職員がチームとなって支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、定期的にミーティングを実施している</p> <p>早期対応にも備えている</p>			
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼夜想定避難訓練を、消防署立会いの下実施している</p>	<p>年2回昼夜想定避難訓練を実施し、1回は消防署の立ち合いがある。以前は近隣に参加協力の声掛けをしていたが、現在では単独での実施となっている。非常用の備蓄は、4～5日分の水・米・レトルト食品・乾パン等の食料や頭巾を準備している。今後、カセットコンロも準備する予定である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室へ入る際はノック・声掛けし、訪室している</p> <p>トイレへの案内も耳元で声掛けし案内している</p>	<p>日頃の関わりの中で、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている。居室に入る前のノックや個別ケア実施前の声掛けを行っており、オムツ交換時はドアを閉めている。申し送りは利用者に聞こえないよう事務室で実施している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>お手伝いや体操等は声かけし、ご本人の意向で参加して頂いている</p> <p>無理強いはしない</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて、習慣や生活リズムを大切にしながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>整容に心がけ、出来る範囲で鏡を見てもらい髪をといたりして頂いている。定期的に訪問カットを利用している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その時期の食材を取り入れ、食事を提供している 行事の際も行事食提供し楽しんで頂いている 片付けも出来る範囲で行っていただいている	フロア毎に職員が調理し、ミキサー食等個々に応じた食事形態で、季節の行事食やおやつ、誕生日には好物・ケーキを提供して食事を楽しんでもらえるよう工夫している。下ごしらえやお盆拭きを個々に応じて利用者もしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った摂取量や食事形態で提供し支援している 水分摂取もこまめに声掛け行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回声かけし、介助の必要な方には介助を行っている 夕食後は義歯使用の方は、入れ歯洗浄剤も使用している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターン表を使用し、個別に対応している 個々にあった声掛けをし、尊厳を守る様にしている	個々の排泄パターンを把握し、利用者の仕草等も見ながらさり気なく声掛け・誘導を行って、日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、オムツからリハビリパンツに改善した例もある。身体状況等により、夜間のみオムツやポータブルトイレを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘状況を主治医に相談し、下剤等を処方している 食事でも食物繊維を取り入れたり、水分摂取も心掛けている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴日を設定しているが、体調や本人の希望により、その都度対応している	週3回午前中に入浴の支援を行っており、個浴や同性介助等、本人の希望により対応している。汚染時は必要に応じて陰洗や清拭・シャワー浴を行って保清に努めている。嫌がる場合は、無理強いせず本人の気持ちに沿って対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温調整を行い、意思を尊重しゆっくりと休息できる環境づくりをしている 不安がある時は傾聴し、安心できるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書を活用し、薬の用途や用量を理解している 服薬の変更時は、スタッフ同士申し送りし、共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	出来るお手伝いをして頂いたり、レクリエーションに参加したりしている		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	現在、コロナにより以前の様に外出は困難になっているが、ご家族様に協力して頂き、外食や短時間での外出を行っている	コロナ禍のための外出自粛や車いす使用者が多くなり全体での外出は困難であるが、希望で近隣の散歩や受診時のドライブ・買い物を行っており、数人で季節の花見にも出かけている。家族の協力で、外食等に出かける利用者もある。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金はスタッフが管理しているが、希望があればご家族様と相談し、お金を持ち近くの店で買い物を楽しまれる方もいる		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ご本人が希望すれば電話を使用できる 電話がかかってきた際も取りついている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには季節に合った装飾をし、四季を感じれるように工夫している	リビングはエアコンで適度な室内環境に調節し換気のため窓を少し開けている。事業所内はゆったりとしており、廊下は歩行訓練ができるほどの広さがある。季節の飾りつけをしたリビングで、利用者が好みの場所でくつろげるようテーブルやソファ等を配置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ゆっくりと過ごせるよう、個室となっている 共有スペースはソファなどに座り、楽しく過ごせるようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人とご家族様と相談し、ホーム生活に必要な物など持参いただいている 転倒・事故等無いよう、環境整備も行っている	居室にはベッドや洗面台・ダンス・エアコンが備えてある。本人は必要に応じて、テレビやイス・ソファ・ハンガーラック・加湿器・寝具等を持ち込んだり、位牌や写真・ぬいぐるみ・化粧品等の身の回りの物を身近に置き、安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内での動線・廊下など歩行・車椅子自走に支障の無い様、常に見守り・環境整備に努めている 居室が分かる様に、表札を使用している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない